

所在地（都道府県/市町村）：徳島県徳島市		
法人名 社会福祉法人 徳島県身体障害者連合会		
施設・事業所名：社会就労センターかもな		担当者名：三橋一巳
事業種類：就労継続支援B型		
主たる障害：身体		令和2年3月末現在 定員：40人
TEL:088-632-1333	FAX:088-632-0520	E-mail:

徳島セルプの新規取組み事業に計画立案から参画しましたので、徳島セルプの新規取組み事業を主に記載しましたが、全事業に取り組んでいますので参考までに事業所の取り組み両面から記載しました。

① 令和元年度までの主な取り組み内容

印刷、製パン、表装作業など自主製品を中心に取り組んでいる。

徳島セルプ協、共同受注窓口の事務局としてブランド戦略、農福連携事業参画

② 施設・事業所における新型コロナウイルスの影響

県内全 63B型事業所にアンケート調査を実施した結果、「影響が出ている」93%で、部品加工などの軽作業が22%と最も多く、製パン、製菓、自主製品等が13%であった。内容については、「感染の心配から訪問販売を断られた」「学校行事やバザー、研修会等が中止になり、弁当や焼き菓子の売り上げが減った」「給食用食材の注文が減少した」などの回答がありました。（地元新聞掲載、NHK特集放送）

○社会就労センターかもなでは

①製パンの販売先からの要請で当面の間、パンの販売を見合わせており、月額約40万の減収（4月から6月）

②稼ぎ頭であった市民プールの売店が今年度は開店できず2か月で約900万円の減収

③ コロナ下において新たに始められた取り組みの内容

事例タイトル：つなぐ・ひろがる・障害者就労開拓事業

取り組み内容：徳島県内A型、B型、地活 全事業所対象

(1) 共同受注機能強化事業

①共同受注窓口の活性化

就労支援事業所等における生産活動を強力に後押しし、共同受注窓口による受注を拡大するため、商品開発・販売力強化のための人材の配置、営業活動等の支援を行う。

②インターネットを活用した販路拡大

就労支援事業所等におけるマルシェをはじめとする対面販売の手法から、新たにECサイトを活用した通信販売による販路拡大を支援し、商品販売力強化の取り組みを推進する。

③工賃向上プロジェクト

株式会社FVPさんの指導によるwithコロナ禍の工賃向上を考えるセミナー、個別支援等

(2)「つながる」マスク等製作事業

布マスクやフェースシールドなど「新しい生活様式」で求められる製品の製作を県から受託し、就労機会を確保するとともに製品を必要とする保育所や幼稚園、小学校、福祉施設に配布し、「ソーシャルディスタンスの保持」と「地域のつながり」の両立を図る。

(3) 農福連携ネットワーク加速化事業、とくしま農業担い手コンシェルジュ

新たな農作物の導入及び販売の方向性の検討、農業部門やNPO民間企業等の関係機関との連携による就労施設と民間企業とのマッチングによる定期販売協力店の発掘や、エシカル消費を踏まえた新たな販路拡大の取り組み支援により、生産から販売までの一体的な支援体制システムの構築。

※各事業内容詳細については別添資料参照

④ ③の取り組みを始めたきっかけ・工夫した点

「新しい生活様式」の定着のもと、障害者就労の支援体制の充実による就労の維持、拡大を図るため、就労系障害福祉サービスの機能を強化し、新たな就労機会の開拓を促進することを目的に、県当局と4月から折衝、協議を重ね7月から事業を本格的に開始した。

⑤ 取り組みの効果（売上や顧客、利用者、職員、地域等における効果）

取り組みの効果は事業が始まったばかりであるので、何とも言えないが、徳島県のA型、B型、地活、全事業所に仕事が行き渡る事業となったので減収部分の補填にはなるのではないと思われる。

社会就労センターかもなでは、新型コロナの影響で仕事量の減少が5月に地元新聞で大きく報道され、それにより高齢者施設を中心に運営する法人から、全経営施設約10数か所施設での定期的なパンの販売の打診があり即対応したほか、地域のゴルフ場から月例イベントの記念品の受注もあり、地域ぐるみで仕事の確保に協力いただき、減収分を補う収益を得て現在も続いている。

また、大型量販店で毎週日曜日にパンの販売をしているが、店側も来客数の減少の中、ご厚意により金曜、土曜、祝日、イベントデーの販売が全面協力を得て可能になり、売上だけでなく、感染防止対策や衛生管理のレクチャーもあり非常に役立っている。

官公庁の役務（主に除草作業）が大幅に増えた（約3倍）のに伴い、民需も共同受注機能強化の事業により増加の傾向にある。

⑥ ③の取り組みを開始するにあたり新たに導入した生産設備・備品（経費・財源）等

(1) 共同受注機能強化事業、インターネットを活用した販路拡大 予算 20,000 千円

同事業では、営業専門スタッフを7月1日付で2名雇用。

(2) 「つながる」マスク等制作事業 予算 10,000 千円

(3) 農福連携ネットワーク加速化事業 予算 4,500 千円

同事業では、専門スタッフ4月から1名雇用

○社会就労センターかもなでは除草作業の受注が格段に増え、乗用式草刈り機や関連作業機器を導入 予算 2,000 千円

⑦ 今後の課題・展望

課題としては、行政と一体となり進める事業に全施設・事業所が積極的に取り組み成果をあげることができるかどうか、矢継ぎ早にメリットある企画を各事業所・施設に提案していくこと。

今後の展望としては市町村ではコロナ対策の補助金事業がたくさん出ており、すでに大口受注の契約ができ事業が進んでいるが、今後も各市町村が計画する各事業に対し営業活動をより強化し優先発注により仕事を獲得すること。

徳島新聞

2020年(令和2年)5月12日 火曜日

新型コロナウイルス

新型コロナウイルスの感染拡大で、障害者の就労支援施設が苦境に立たされている。県内43事業所で行ったNPO法人とくしま障がい者就労支援協議会の緊急アンケートに、9割の事業所が、利用者の工賃に影響が出ているか、今後出る恐れがあると回答した。イベント自粛などで商品が販売できず、企業からの受注も減っているため、関係者は危機感を強めている。

障害者就労支援ピンチ

アンケートは4月20～24日に実施した。工賃に関しては「既に減額などの影響が生じている」が42%、「今後生じる恐れがある」が51%、「分からない」が7%だった。影響を受けている作業種別では、部品加工などの「軽作業」が22%と最も多く、「製菓・製パン」と「自主製品等」がいずれも13%で続いた。

内容については「感染への心配から訪問販売を断られた」「学校行事やバザー、研修会などが中止になり、弁当や焼き菓子の売り上げが減った」「給食用食材の注文が減少した」などの回答があった。

障害者40人が利用する社会就労センターかもな(徳島市南庄

業務の受注激減

町5)では、取引先の休業で4月下旬から軽作業の受注が激減した。4月分の工賃は1割ほど減る見込みで、5月はさらに苦しくなりそうだ。三橋一巳施設長は「影響が長引けば、法定の積立金だけでは補いきれない。今は印刷や除草作業などの仕事を頑張るしかない」と話す。NPO法人クレール(同市昭和町3)は、4月20日から弁当販売やレストランを休業し、売り上げがほとんどなくなつた。収益は全て工賃に充ててきたため、購入済みの材料費や家賃の支払いに頭を痛めている。

施設の9割「工賃に影響」

利用者20人は現在、在宅勤務や商品開発に取り組んでいるものの、やりがいを失っているという。原田昭仁理事長は「お客さんと接しながら働き、自分で賃金を得るのが誇りだった。それを奪われ、皆つらい思いをしている。ドライフスルーでの弁当販売などに挑戦し、何とか立て直したい」と語った。協議会の松下義雄理事長は「どの施設も利用者の仕事確保に悩んでおり、行政には積極的な業務発注などで支援してほしい」と話している。(秋月悠)



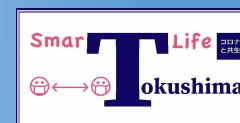
軽作業の造花づくりに励む利用者。新型コロナウイルスの影響で仕事が減っている「徳島市の社会就労センターかもな」



HPIはこちらから

令和2年度6月補正予算の概要

<感染防止と社会経済活動の両立フェーズ>



事業規模81億円

「とくしまスマートライフ宣言」の実践を応援！
「新しい生活様式」を取り入れた「感染症に強い徳島」づくりを推進！

●コロナ対策予算 6月補正 73億円
4月補正 330億円
総額403億円

(主な事業)

「業を生み出す」 「人の活動を盛んにする」

(金額単位：千円)

新しい生活様式の確立

スマートライフの呼びかけと実践 45億円

■事業者の取組みを支援

- WITH・コロナ「新生活様式」導入応援事業 2,100,000
- 新しい生活様式を支える！公共交通応援事業 1,000,000

■民間事業者の新たな発想の活用

- スマートライフ先取り！事業者応援事業 500,000

■キャッシュレス決済の推進

- マイナポイント利用促進！徳島県版プレミアムポイント事業 750,000

■県職員のテレワーク環境の強化

- テレワーク環境拡充事業 96,000

業と雇用を守る

あらゆる事業者へのハード・ソフトの支援 20億円

■中小企業・小規模事業者等の事業継続支援

- 中小企業・小規模事業者向け給付金の増額 800,000
- 生活衛生関係営業者向け給付金の増額 70,000

■農林漁業者の支援

- 県高収益作物次期作応援事業 50,000
- 県産畜産物活用型経済活性化事業 114,000
- 林業・木材産業緊急支援事業 127,100
- 「海の幸」販売促進緊急対策事業 115,000

■正規雇用の創出と促進

- 新型コロナウイルス安定雇用促進支援事業 20,000

■障がい者の就労・雇用の創出

- つなぐ・ひろがる・障がい者就労開拓事業 68,000

○県有施設テナント料の減免期間の延長

暮らしと命を守る

誰一人取り残さない医療・福祉の安定 10億円

■医療・救急体制の支援

- 医療従事者支援事業 88,650
- 119救急搬送体制整備事業 12,000

■経済の悪影響を受けやすい家庭への支援

- ひとり親家庭子育て応援事業 80,000

■命を守る相談体制の強化

- ICTの利活用による自殺対策事業 5,000

学びを支える

未来教育の展開 5億円

■夏期の授業に備えた学校の空調整備

- 快適な学習環境整備事業 52,086
- 「新しい生活様式」に対応した学校空調モデル創出事業 135,000

■ICT活用教育の推進

- 「GIGAスクール構想」加速化事業 105,940
- 子供の学びを支え深化させるEdTech活用推進事業 20,000

徳島の魅力アップ

都市部から徳島へ 1億円

■県外大学生等の県内就学・就職支援

- リスタート！新しいとくしま暮らし支援事業 30,000

■県産品の県外大学生等への提供による絆の強化

- ふるさと帰郷「絆」強化事業 40,000

■サテライトオフィス誘致の強化

- 新しい生活様式発信！サテライトオフィス誘致加速化事業 20,000

歳出から歳入を生み出す工夫

感染拡大の影響により、中止や実施が困難な予算を見直し、緊急対策予算に再編成
○減額補正額 ▲20億円(一般財源▲10億円、国庫▲7億円、その他▲3億円)

注：記載事業は主なものであり、合計額は一致しない

⑨ つなぐ・ひろがる・障がい者就労開拓事業



【令和2年度6月補正予算額 68,000千円】

- 1 目的

「新しい生活様式」の定着のもと、障がい者就労の支援体制の充実による障がい者就労の維持・拡大を図るため、就労系障がい福祉サービスの機能を強化し、新たな就労機会の開拓を促進する。
- 2 事業内容
 - (1) 共同受注機能強化事業 20,000千円
 - ① 共同受注窓口の活性化

就労支援事業所等における生産活動を強力に後押しし、共同受注窓口による受注を拡大するため、商品開発・販売力強化のための人材の配置、営業活動等に係る支援を行う。
 - ② インターネットを活用した販路拡大

就労支援事業所等における、マルシェをはじめとする対面販売中心の手法から、新たにECサイトを活用した通信販売による販路開拓を支援し、商品販売力強化の取組みを推進する。
 - (2) 障がい者就労「開拓」応援事業 38,000千円

就労継続支援B型事業所が、「新しい生活様式」に対応した新たな就労に取り組むため、商品販売力の強化や生産商品の転換、施設外就労の新規獲得など、販路拡大等の新たな取組みに必要な経費の一部を支援する。
 - (3) 「つながる」マスク等製作事業 10,000千円

布マスクやフェイスシールドなど「新しい生活様式」で求められる製品の製作を就労支援事業所等に委託し、就労機会を確保するとともに、製品を必要とする保育所や幼稚園、小学校、福祉施設等に配布し、「ソーシャル・ディスタンスの保持」と「地域のつながり」の両立を図る。

担当：健康づくり課、障がい福祉課

オリジナル商品等の物品WEB販売システム（ECサイト）」（案）

（物販／ECサイト）

特定非営利活動法人 とくしま障がい者就労支援協議会

目 的

- ・障がいのある方の工賃向上のためのオリジナルショップの確立
- ・環境や情勢に左右されないショップの確立
- ・売れる就労製品の開発とブラッシュアップによるアイテム拡充

対象施設・事業所 (取扱商品)

- ・徳島県内A型、B型就労支援施設・事業所、地域活動支援センター
- ・就労製品全般(スイーツ・食品・藍染め・雑貨、小物・役務・etc)
- ・awanowaブランド商品(キャラクターグッズ・共通コア商品)

ねらい(希望)

- ・awanowaショップと就労製品の認知度アップ・販路拡大
- ・就労製品のレベルアップ
- ・地域や民間との連携とネットワークの構築
- ・Web技術の習得と活用(施設の参画による運営)

Ecサイトの構築

- ・PC、タブレット、スマートフォンの環境で閲覧可能
- ・ユニバーサルデザインサイト
- ・シンプルで見やすく、使用感の良いサイト
- ・awanowaブランドの要素を加味した、おしゃれなサイト

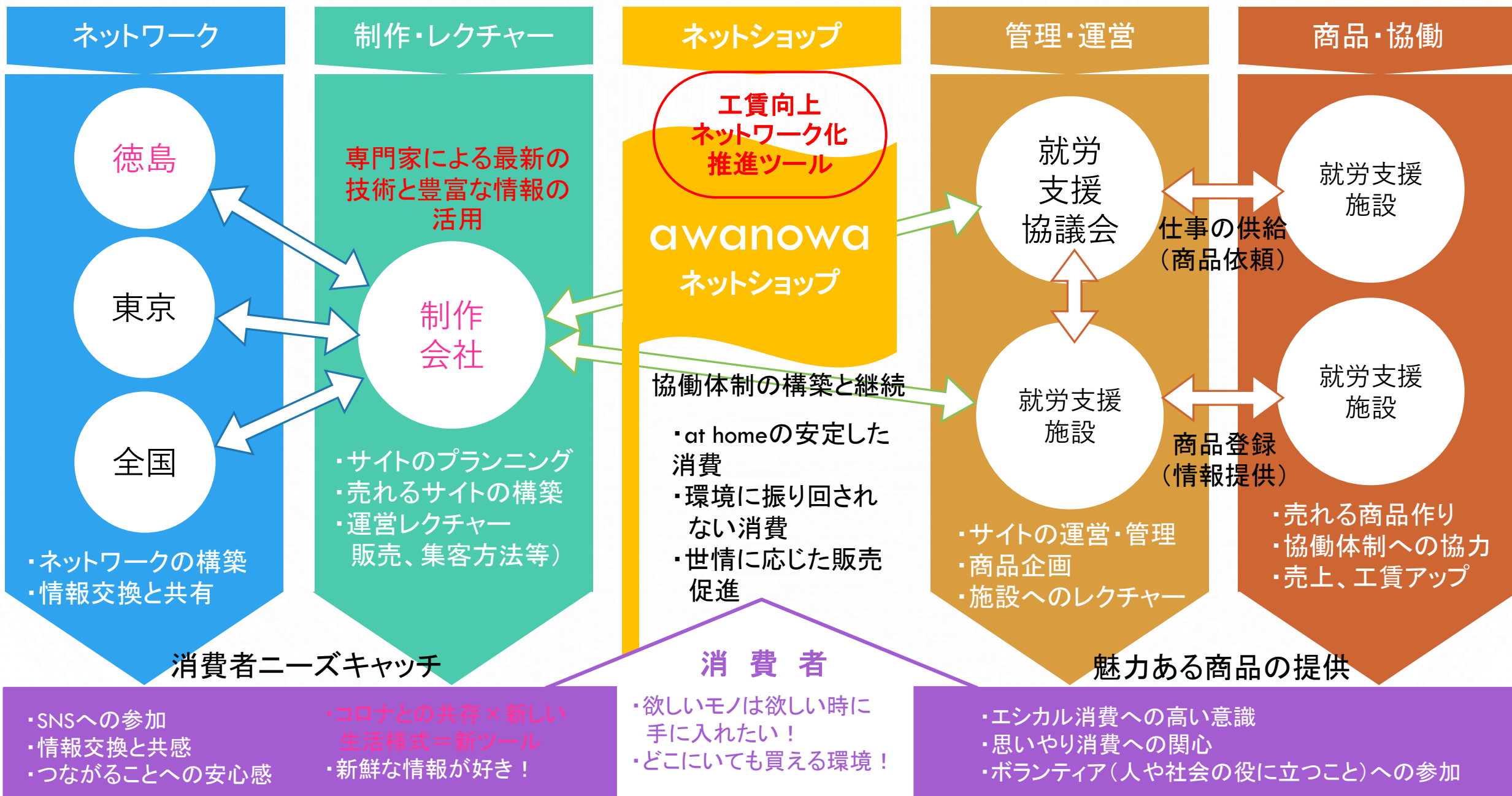
スケジュール

- ・～R2年12月：サイト構築・商品収集～登録作業
- ・R2年12月～：サイトプレオープン(運用レクチャー・販売確認)
- ・R3年1月～：本運用開始
- ・～R3年3月：管理・操作・運用レクチャー

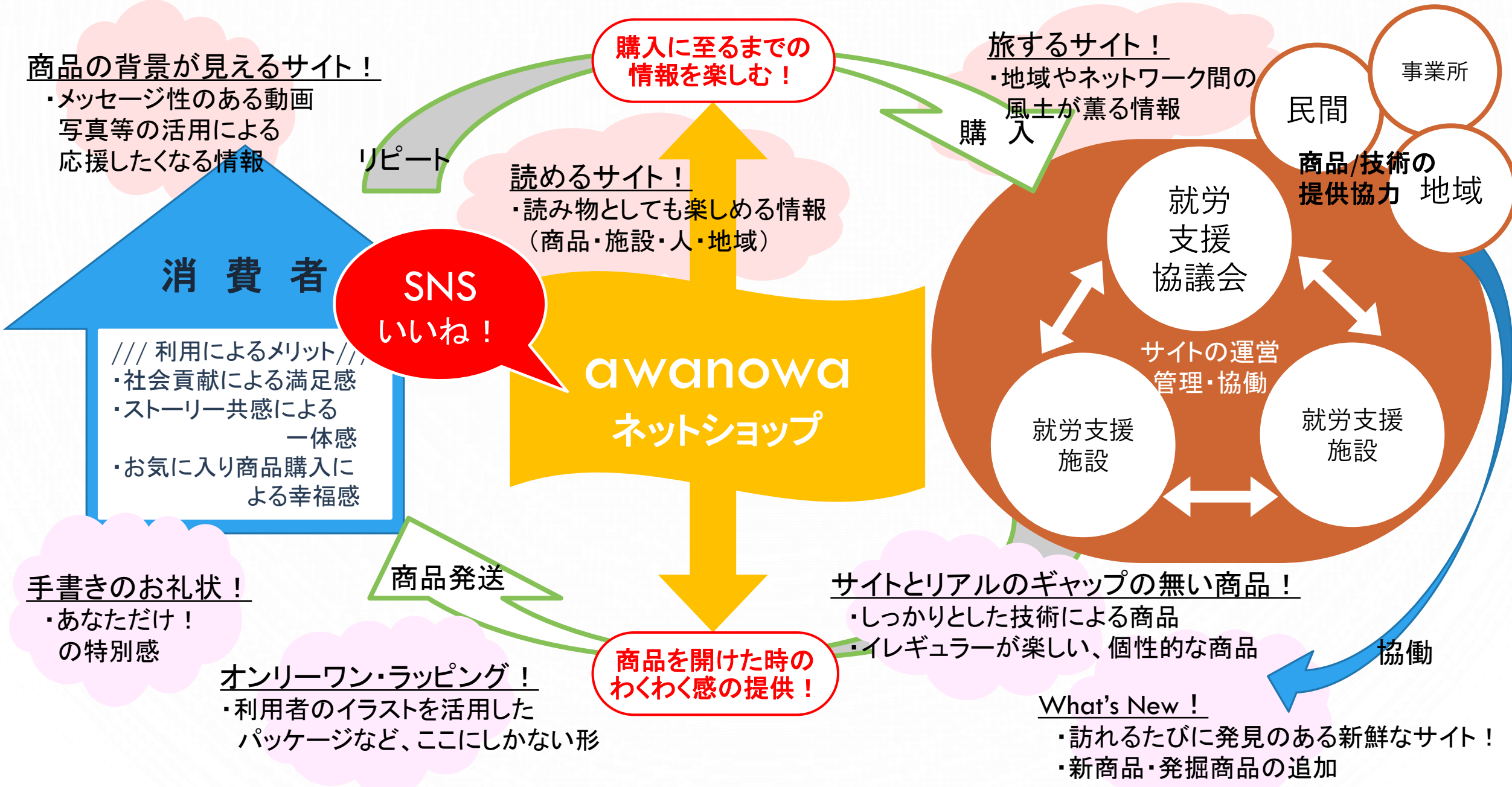
売れる化

- ・SEO対策等、サイトの見える化対策
- ・SNS等の活用によるサイトの拡散
- ・ネットワークによる認知度アップ協力
- ・リスティング広告等の検討

とくしま障がい者就労支援協議会 E C サイト構築（案）



とくしま障がい者就労支援協議会 E C サイト 運営(案)



つなぐ・ひろがる・障がい者就労開拓事業計画の概要

事業の背景

- ・徳島県内の就労支援事業所（以下事業所）では、新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の低迷により、企業からの軽作業の受注や外部販売の機会等が激減し、生産活動が低迷することで、施設利用者の工賃等に影響が生じている。
- ・弁当やパン、雑貨等の販売の機会として障がい者就労の売上に貢献していた各種の大規模イベントやマルシェ等が自粛を継続していることから、工賃低下の影響は今後も続く恐れがある。
- ・令和2年4月下旬に県が施設に対して行ったアンケートによると多くの事業所が前年よりも売上が減少しているとともに、約9割の事業所が「工賃への影響を懸念している」と回答している状況である。※資料〇参照
- ・「平成30年度平均工賃全国第1位」を達成しているが、今後、コロナ禍の影響から早期に脱却し、さらに高い工賃等を目指すには、「新しい生活様式」が定着した社会に順応した、障がい者就労支援体制をいち早く整備する必要がある。
- ・官公需だけに頼らない民需の獲得や需用者と事業所のマッチングの強化を図る必要がある。
- ・障がい者就労商品の魅力を伝える「ECサイト」の構築、「ウェブセミナー」等の活用により、「新しい生活様式」下でも事業所が工賃向上に取り組むことができるよう支援を行う必要がある。

つなぐ・ひろがる・障がい者就労開拓事業

1、共同受注窓口の活性化事業

事業の目的

共同受注窓口における受注体制の強化や販売ルートの開拓、需用者のニーズに合った就労商品の開拓やマッチングの強化等を図ることで、事業所の売上向上に貢献する。

事業の内容

- ・民需の増加に対応できるよう共同受注窓口の活性化及び事業所の受け入れ体制の整備。
- ①共同受注窓口民需の受注拡大強化のため営業要員を配置。
- ②農福等含めた連携、企業等との連携強化。（仕事の受注・授産品の販売促進のため情報発信、専用サイト構築、ニーズ調査等。）
- ③企業等による施設の見学受入れ、企業等から興味や魅力を持ってもらう活動を実施。

2、インターネットを活用した販路拡大

事業の目的

「新たな生活様式」に対応するため、就労商品の魅力を伝える「ECサイト」を活用した通信販売による販路開拓、ウェブセミナーやテレビ会議を活用した「新たな生活様式」下での工賃等向上の取り組みに関する研修を踏まえたアウトプットにより、事業所での生産活動拡大の強化を支援する。

事業の内容

1、EC サイトの構築

①EC サイトを構築、サイトを活用した通信販売による販路開拓、販売力強化

・就労商品等の魅力を伝え（生産にまつわる過程等を動画で紹介等）需用者の購入意欲を引き出すECサイトを構築。

・従来のイベント販売中心から通信販売によるアフターコロナの時代に合った商品販売力強化。

2、コロナ禍の工賃向上を考えるセミナー

1、①事前アンケート、②ウェブセミナー（ライブ配信・録画配信）、③ウェブ討論会

2. コロナ禍でも動きを止めない工賃向上のための個別支援

3. 効果的な生産活動の実証試験

4. 事業報告・全体研修会

3、「つながる」マスク等製作事業

事業の目的

「新たな生活様式」で求められる、布マスクやフェイスシールドなどの製品を就労支援事業所等が分業して行うことで、就労機会を確保するとともに、製品を必要とする保育所、幼稚園、小学校、特別支援学校等に配布し、「ソーシャルディスタンスの保持、地域とのつながりを図る。

事業の内容

1、マスク製作

①子ども用マスク 10,000 枚、大人用マスク 600 枚

2、フェイスシールド制作

①一般用 3,000 枚枚、医療用 2,000 枚

パン!マルシェ 2020

PAN_marché

6.1.Mon ~ 5.Fri

リニューアルオープン
第1弾イベント

Open: 10:00-16:00
定休日: 木曜、土曜、祝日
徳島県立障がい者交流プラザ1F
...awanowaカフェ...

かもなベーカリーのパンは
生地から手作り、って知ってた?
おいしさの秘密は
手作り生地にあり!!!

28種類のパンが毎日変わる!!
パン好きにはたまらない企画!!!
お気に入りのパンを見つけよう!!!

awanowa
café

カフェでおなじみの
100円パンが全種類
日替わりで登場します。

お惣菜パンも、
菓子パンも、
焼き菓子も、揃えます!

お惣菜パンも、
菓子パンも、
焼き菓子も、揃えます!

お惣菜パンも、
菓子パンも、
焼き菓子も、揃えます!

awanowaカフェへようこそ!

窓際のカウンター席は
読書やプチお仕事など
お茶を飲みながら、
中庭を眺めながら、
お一人様でも大丈夫!

awanowaカフェへようこそ!
ギラギラ日差しがなつぷりの
明るいカフェで、ランチタイムに
リフレッシュ!

2020
RENEWAL
6.1.Mon
リニューアルオープン
OPEN

awanowaカフェへようこそ!
e-マルシェ/コーナーでは、
スイーツや野菜、手作り雑貨の
お買い物も楽しめます!

awanowaカフェへようこそ!
お友達とのおしゃべりや
レッスン後のひと時は
カフェで
ゆっくりお過ごしください。

awanowa
café

● 食後のドリンク無料サービス
● 珈琲 or 紅茶 (Hot or Ice)
● 使用期限: 2022.7月末まで
お食事とお飲み物がおいしく
ご利用いただけます。
飲み物だけの利用はできません。
営業中、お飲み物を
お楽しみください。

Open: 10:00-16:00
定休日: 木曜、土曜、祝日
徳島県立障がい者交流プラザ1F
...awanowaカフェ...



▼6月ノウフクマルシェ



Sweets Marché
6.8. Mon ~ 14. Sun
11(木)・13(土)お休み
…リニューアルオープン…
第2弾イベント

2020 スウィーツマルシェ

女子のご用達！
スイーツを食べると幸せ気分！！
スイーツ好きにはたまらない企画！！
食後のデザートにひとつ♡
3時の休憩にもひとつ♡
夜ご飯の後もひとつ買って帰ろう♡

施設メイドスイーツの
おいしいの秘密は、
やさしい甘さと
ていねいな手作りにあり！！

いろいろな焼き菓子、届きます♪
あなたは、クッキー派？
しっとり焼き菓子派？
バームクーヘンも捨てがたい！！

甘さ控えめのクッキーは
ちいさなお子様にも安心♪
お花やお星さまを添えて
楽しいお話しtime…♪

サクサク、ポリポリ
しっとり、ふんわり
やっばり、おいしい…♪

awanowa café
Open: 10:00-16:00
定休日: 木曜、土曜、祝日
徳島県立徳島いこい交流プラザ1F
…awanowaカフェ…



▼7月エコバックイベント



Eco bag Marché
7.13. Mon ~ 20. Mon
16(木)・18(土)お休み

施設madeのカラフルエコバッグの
マルシェを開催します！！
それぞれ、個性のあるバッグ達★
お買物を楽しく、地球にもやさしい
取り組みです♪
コンビニやお買い回り用にもう一つ
車やオフィスに常備してエコ生活！

お気に入りのエコバッグでお買物♪

健康発祥産物
金太郎

2050年には
魚の数の
プラスチック
ゴミの数が
多くなると予
想されています！

いたの
あせび

日本は1人当
りの使い捨て
プラスチック
ごみの発生
量が、アメリ
カに次いで世
界で2番目に
多い国！

グッドジョブセンター
はら
かのん

私たちにで
きることを毎
日の暮らしの
なかで短縮
していくこと
が地球環境
問題解決への
第1歩！

ワークサポート
やまなみ

awanowa café
Open: 10:00-16:00
定休日: 木曜、土曜、祝日
徳島県立徳島いこい交流プラザ1F
…awanowaカフェ…



夏色マルシェ - 藍染展 -

令和2年8月3日mon~21日fri

10:00~16:00 木・土 休み

場所：徳島県立障がい者交流プラザ
1F awanowaカフェ

同時開催
交流プラザ
フェスタ月間
8/1-8/31



グッドジョブセンター-GJC 徳島スローワークセンター
かのん おゆみ園
桜東の丘 ひまわり園 ゆいたび れもんワークス

※ 写真はイメージです



イベント期間中
1,000円以上
お買い物のお客様に
「あいねこ藍ずきん」
オリジナル付箋
Present!!

awanowaカフェ

とくしま障がい者就労支援協議会 藍部会

オリパラ基本方針推進調査 (パラリンピックを受け入れるホストタウンの拡充等)に係る取組 企画提案書

1. 取組内容等

(1)フィールド自治体の区分
(フィールド自治体の区分を①～④から記入してください。 例:①共生社会ホストタウンを目指す自治体) 区分: ①共生社会ホストタウンを目指す自治体
(2)目的
「ジョージアのホストタウンを活用した国際交流と共生社会実現への取組促進」 ・ 徳島県では、2019年ラグビーワールドカップにおけるジョージア代表チームの事前合宿実施に伴い、公開練習や学校訪問等、小中高大学生から幅広い年代の県民・市民向との食や文化について交流を実施した。 ・ また、この絆をきっかけに、パラリンピック競技大会の事前キャンプ実施を決定しており、ジョージアのホストタウンとしての登録の準備を進めるとともに、鳴門市と連携して「共生社会ホストタウン」としての登録に向け準備を進めている。 ・ 東京パラリンピックの開催が2021年8月24日～9月5日に延期されることが決定され、準備期間が十分とれるようになったことも踏まえ、共生社会ホストタウン登録に併せて、より多くの徳島県民に対するジョージアを応援する機運の醸成を行いつつ、ユニバーサルデザインの街づくり・心のバリアフリー 浸透を図る取組を展開する。 ・ 徳島県では、2021年、世界に誇る「阿波おどり」期間中に、全市町村参画のもとパラリンピックを応援する方々の熱意を炎に変える採火式を行い、市町村の火を一つに集め「徳島県の聖火」を生み出す聖火フェスティバルを行うとともに、ジョージアパラリンピック代表団による事前合宿や交流等を予定している。 ・ 徳島県の共生社会ホストタウンの取組を、オリンピック・パラリンピック教育に参加する県内小中高校が連携して実施することを通じて実現させていく。さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、ITを使って県内関係者、ジョージアとの情報共有、連絡調整等を行うこととする。 ・ 以上の取組を通じて、心と街のバリアフリー化に取り組み、国際理解や多様性の理解を促進させるとともに、県民の皆様の記憶に残り、未来の夢や希望を育むレガシーとなるよう、共生社会の実現を目指す。

(3)モデルプロジェクトの具体的内容・スケジュール

(具体的な取り組み内容)

徳島県では「共生社会ってなんだろう！ 障がい者も健常者もみんなが健康で一緒に暮らせる社会を創ろう」をテーマに様々な活動に取り組んでいく。

具体的には徳島県で、これまでカンボジア・ドイツなどオリンピック選手団の受入に向けて取り組んできたホストタウン活動を、ジョージアのパラリンピック選手団受入に向けて応用していく。さらに、お遍路の文化を活かし、県民挙げて（ホストタウン特使を中心とする若者から高齢者、障がい者など幅広い県民）「お接待」の心で迎えらるよう様々な企画を実施する。さらに県民挙げての応援機運を盛り上げるため、「徳島ホストタウンサポーター認定制度」（認定ルールを作成し、認定証の交付等を検討中）を立ち上げ、県民の東京 2020 大会や共生社会に対する興味関心を喚起する。

現在の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を勘案し、上半期はオンラインベースの取組を中心に、下半期に実際の交流やイベント開催を目指す。新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、下半期もイベントの開催や交流が難しい場合、オンラインイベントの開催を目指す。

取組内容

○ オンラインベース（上半期）

【パラリンピック種目や選手を知る】

- 種目や選手紹介映像の作成および SNS による発信（TV 会議活用版）

（ジョージア大使館等から映像や動画を提供していただき、徳島商業の高校生が編集）

【ジョージアを知る】

- トビリシ自由大学とオンライン連携を開始、パラリンピックの機運醸成

（採択後、トビリシ大学の先生や通訳の小島さん、在ジョージア日本大使館に連絡し、連携を開始する。徳島側は徳島商業高校と四国大学が連携し、ジョージア・徳島それぞれの伝統文化を活かした商品開発や踊りの紹介などを行う。）

【芸術・文化交流】

- トビリシ自由大学との若者同士の Web ワークショップの開催

（徳島側は徳島商業高校、四国大学、悠林舎が連携し、オンラインベースで、食文化調査による商品開発や、パラリンピック出場選手等取材による紹介動画・ポスター等の作成することにより、芸術・文化交流を促進するとともに、パラリンピックのレガシーの創出を目指す。）

【応援したい気持ちの醸成】

- 応援動画の作成（ホストタウン特使（徳島商業高校生）を中心に、学校や高齢者施設、障がい者施設等、様々な施設を訪問し、応援動画を作成する。）

○ 実践ベース（下半期）

【ジョージアに伝える取組み】

- 高校生、障がい者団体等がジョージアを訪問し国際交流を実施（ホストタウン特使が中心に取材活動、商品開発意見交換、観光地を VR 等で紹介、とくしま障がい者就労支援協議会の藍染め商品や焼き菓子、野菜等を紹介）

【県民を巻き込む取組み】（学校が再開され次第、取組は開始する）

- ホストタウンサポーターの養成

ホストタウン特使が仕掛け人となり、それぞれの専門的知見でホストタウン盛り上げるサポーターを養成する。（例えば、菓子職人ならジョージアや徳島の材料や製法を生かした商品開発のサポートなど。）

役割を持つサポーターが、さらなるサポーターを呼ぶことで応援機運を醸成する。

（活動の中心となる徳島市・鳴門市の人口の 1%（約 3,000 人）以上の登録を目指す）

1 専門家サポーター

- ① 伝統工芸・芸術サポーター

・芸術表現に取り組む方

- ・ 藍染め関係者
- ・ 踊り（阿波踊りなど）
- ・ 衣装（民族衣装など）

② 商品開発サポーター

- ・ 食（製菓、料理、原材料、製造業者）
- ・ 文化（藍染めマスク）※障がい者施設、四国大学、徳島商業、城西高校、小松島西高校、藍染師等との連携を想定

③ 広報サポーター

- ・ マスコミ関係
- ・ 映像作成（VR・プロジェクションマッピングなど）
- ・ SNS

④ 歌サポーター（ホストタウン特使がまずジョージアの国家をマスターし、県内各学校に普及していく予定）

- ・ 幼稚園
- ・ 小学校
- ・ 中学校
- ・ 高校
- ・ 大学
- ・ 支援学校
- ・ その他団体など

2 May ii サポーターの養成

「May ii（メイアイ）」のアプリを活用して共生社会を実現するサポーターを養成する。（街中での移動に困り手助けを求める人と、手助けしたい人をつなげるスマートフォンアプリ「May ii」を活用し、社会全体で助け合いが広がっていく取組を推進する。）

① 徳島市・鳴門市を対象エリアとし、May ii サポーター講習会を実施

（学生サポーター向け講習会等は、Web 講習会も検討）
初期サポーターとして、1,000 名の登録を目指す。

② 徳商デパートなどのホストタウンイベントを皮切りに May ii の周知と徳島版 May ii を作る。（困り事などをカスタマイズする。）

③ 地域企業などを巻き込むことにより、May ii サポーターになる魅力を UP する。（例えば、May ii アプリを見せる（行動変容につながるような仕組みを検討）とラーメン屋さんで煮卵プレゼントなど。）

④ 心のバリアフリーの学びを May ii を使って実施

⑤ May ii サポーターや利用者の動向、満足度を分析し、市民の共生社会への参画機運を醸成する。（アプリのユーザー数、ミッション機能の実施回数、リクエストの発信数などのデータを想定）

【ホストタウン特使および専門家サポーターが中心となり展開】

サポーターに登録いただいた方々に、1人1つ以上実践できることを実施するなど、様々な場面で参画していただける仕掛けを検討

- パラリンピック選手受入時の食のお接待、交流活動を実施
- 障がい者アートの展示会及び VR 映像を作成

- 徳商デパートと授産施設が連携し、ショッピングセンター等でジョージアの食文化や授産商品、パラスポーツ等を紹介することにより、パラリンピックの機運醸成を図る。
- ユニバーサルデザインレストランの実施（障がい者が使いやすいデザインの食器の開発や障がい者にやさしいメニュー開発等を実施することにより、ジョージアの食文化の理解促進及び共生社会の実現を目指す。）
- 2020 ホストタウンサミットへの参加（ホストタウンの活動紹介等）

《代替案》オンラインベース（下半期）

- 若者 100 人ホストタウンオンラインミーティングの実施（5 人 1 組×20 チームを編成し、ジョージアの若者と徳島の若者が商品開発の意見交換や、お互いの食文化の紹介等の交流、e-スポーツによる交流等を行うことにより、両国の食文化の理解促進及び共生社会の実現を目指す。）
- オンラインでのジョージアパラリンピック関係者と徳島の若者との意見交換会（パラリンピックを目指しているアスリートの練習風景の紹介や大会への思い、徳島県の方々へのメッセージ等を徳島県や学校の HP 等へ掲載することにより、障がい者スポーツへの理解促進及びパラリンピックの機運情勢を図る。

- | | |
|---------|---|
| 5月頃 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 共生社会ホストタウン登録
公共施設、宿泊施設等のバリアフリー受入調査を実施するなど、受け入れ準備（県） ・ オンラインベースの選手、競技紹介動画の作成 ・ トビリシ自由大学とオンライン連携を開始、共にパラリンピックの機運醸成 |
| 6月頃 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 応援動画作成（オリパラ教育推進校や支援学校、四国大学等と連携） |
| 6月～12月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ トビリシ自由大学と若者同士のWebワークショップの開催 ・ 歌の練習（相手国国歌など） ・ ホストタウンサポーターの募集・養成 ・ Mayii システムの構築 |
| 10月～12月 | <p>○ジョージアに伝える取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生など学生のジョージア訪問による国際交流を実施 ・ とくしま障がい者就労支援協議会の藍染め商品や焼き菓子、野菜等の紹介 ・ 観光地をVR等で紹介 <p>○徳島を巻き込む取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前キャンプ受入による参加選手との交流 ・ 徳島商業高校によるジョージアのパラスポーツや食文化の動画や展示による紹介やおもてなし（ユニバーサルデザインレストラン） ・ 社会福祉法人悠林舎による文化芸術作品展
出場選手に参加していただける共同制作ワークショップ開催（レガシー創出） ・ 阿波おどり体験等による交流 |
| 2月頃 | 2020ホストタウンサミットへ参加（ホストタウンの活動紹介等） |

※県民への情報発信：徳島新聞または四国放送とタイアップを予定

※都内での展示：2020 ホストタウンサミットなどでの展示を予定

(実施スケジュール) ※別紙でも可

(例)	5月	6月	7月	10月	12月	2月
共生社会ホストタウン登録調整 事業内容、委託先の検討・調整						
	・選手紹介、種目紹介動画作成、SNS 発信 ・Web ワークショップの開催（文化交流） ・応援動画の作成 ・国歌練習 ・ホストタウンサポーターの養成 ・Mayii システムの構築					
				・ジョージア訪問 ・芸術・文化紹介動画の作成 ・ホストタウンイベントの開催		

(4)期待される効果

- ① パラリンピックのホストタウン活動による心のバリアフリーの実現
- ② ジョージアのホストタウン役としての国際的信頼度向上
- ③ ジョージアへ、徳島県 の 各魅力 、文化のアピールによる理解度向上
- ④ バリアフリーの現状把握と、今後のユニバーサル化（共生社会への取組み推進）
- ⑤ ジョージアとの貿易、観光といったスポーツによる国際交流をきっかけとする 、パラリンピックホストタウンのレガシー化

2. 必要な経費

経費区分	金額	積算根拠(単位千円)	備考
旅費	4,200	相手国訪問に係る職員旅費 600 千円 (2 人) 相手国訪問に係る市民旅費 2,100 千円 (7 人) 都内展示に係る旅費 900 千円 (10 人) ホストタウン活動の広報活動に係る旅費 600 千円 (10 人)	
会議費			
謝金	500	通訳謝金 250 千円 (2 人) (訪問時) 通訳謝金 250 千円 (Web 会議・取材時)	
借料及び損料	100	携帯電話借上げ費 100 千円/4 カ月	
消耗品費	100	のぼり旗、パネル作成費 100 千円	
外注費	5,000	イベント開催経費 900 千円 (徳商デパート、ユニバーサルデザインレストラン等) コラボ商品開発経費 300 千円 四国大学委託料(食のサポート・動画編集) 500 千円 Mayii タイアップ経費 1,200 千円 国歌指導関係費 500 千円 広報動画監修経費 500 千円 Web ワークショップ材料輸送費 500 千円 ホストタウン文化芸術展示作品等移送費 600 千円	
印刷製本費	200	広報、パンフレット印刷 200 千円	
補助人件費			
その他諸経費			
合計	10,100		

3. 実施体制

事業全体の実施体制

＜表＞実施体制

		実施内容・役割
事業実施団体	徳島商業高校	・ ジョージア訪問による出場選手や食文化等調査、商品開発 ・ ジョージア紹介動画を作成 ・ ジョージアとの交流・おもてなし ・ ホストタウンの取組紹介 ・ 東武トップツアーズや DNP と連携し、May ii アプリを活用
協力団体	特定非営利活動法人とくしま障がい者就労支援協議会	・ ジョージアとの交流、おもてなし ・ 徳島商業高校やホストタウンサポーターと連携し、藍染め商品や焼き菓子・野菜等の物販による交流・おもてなし ・ 徳島商業高校やホストタウン特使と連携し、ジョージアの食文化研究・商品開発等を実施
協力団体	社会福祉法人悠林舎	・ トビリシ自由大学や徳島商業高校、四国大学等が連携し、Web ワークショップを開催
協力団体	徳島県ダイバーシティ推進課	・ 事業の総括 全体調整 ・ ジョージアとの交流の企画及び実施 ・ 共生社会ホストタウンの取組推進

【体制図】

(上記団体の相互関係が分かるように記入してください)



【特記事項】

- ・ トビリシ自由大学、四国大学、徳島商業高校、悠林舎が連携し、Web ワークショップを開催
- ・ 徳島商業高校、とくしま障がい者就労支援協議会、社会福祉法人悠林舎、徳島県が連携してジョージアを訪問し、国際交流を実施(商品開発意見効果、徳島の観光地の PR、藍染め商品の紹介等)
- ・ 徳島商業高校、とくしま障がい者就労支援協議会、社会福祉法人悠林舎、徳島県が連携して、ホストタウンサポーターを養成
- ・ 徳島商業高校、東武トップツアーズ、DNP が連携し、May ii アプリを活用し、社会全体で助け合いが広がっていく取組を推進

4. 担当者

自治体名		
担当者(代表者)	部署名	徳島県未来創生文化部ダイバーシティ推進課
	役職・氏名	主査兼係長 加藤 泰
	所在地	〒770-8570 徳島市万代町1-1
	電話番号(直通)	088-621-2783
	FAX番号	088-621-2978
	E-mail	katou_yasushi_1@pref.tokushima.jp